

燃料電池用温度センサ マイクロヒータ

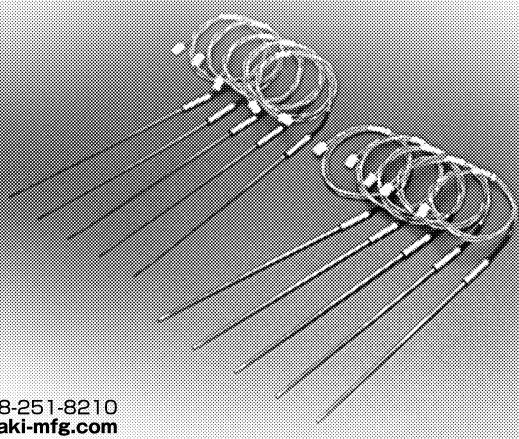
家庭用燃料電池向
改質器用シース型
温度センサ 外径φ0.08mmから
マイクロヒータ 外径φ1.6mmから

- 高温耐久性 ●高圧耐久性
- 特殊シース材質採用 ●特殊エレメント採用



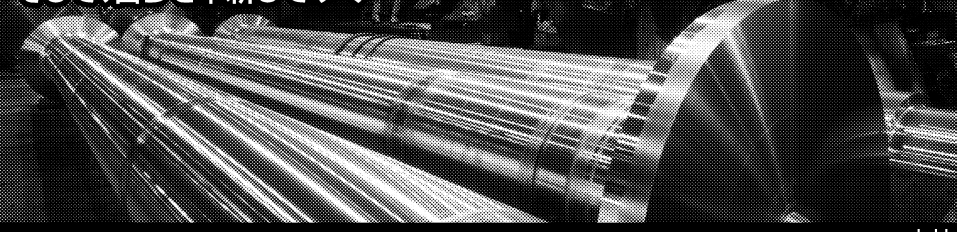
本社 お問い合わせ: TEL.078-251-8200 FAX.078-251-8210
神戸市中央区御幸通3丁目1番3号 <http://www.okazaki-mfg.com>

TEMPERATURE SENSOR & MICRO HEATER



世界最大の戦艦「大和」。その巨砲を生んだ技術は 戦後日本の礎として、脈々と生き続ける。

精密化・大型化に挑み、次代を見つめ
そして、自らを革新してゆく



世界最大の戦艦「大和」を造ったドイツ生まれの旋盤は、七十数年を経た今も現役だった。「大艦巨砲」の思想と技術を誇らしく体現した戦艦「大和」。しかし、堂々と砲弾を放ち合う大海戦とは無縁のまま沖縄への途上、米軍機の集中攻撃によって3,000余りの兵とともに沈む。無用の長物でしかなかったのか…。いや、そうではなかった。そこで結集された技術は戦後の急速な復興を支えつつ、ものづくりニッポンの礎として脈々と生き続けたのである。「きしろ」の播磨工場には、今もなお蒸気機関車ほどもある長大な体から鉄くずを吐き、うなりを立てて、たゆまず鋼を削っている旋盤の勇姿があった。

株式会社きしろ 代表取締役社長 松本 好隆

本社/〒673-0881 明石市天文町2丁目3-20
TEL078-917-1223 Fax 078-917-1226
<http://www.k3.dion.ne.jp/~kishiro/>

HIWIN® お客様に付加価値を創造する



ハイウィン株式会社 HIWIN CORPORATION
〒651-0087 神戸市中央区御幸通4丁目2-20 三宮中央ビル3階
Tel: (078) 262-5413 Fax: (078) 262-5686
<http://www.hiwin.co.jp> E-mail: info@hiwin.co.jp

東京支店 Tel: (042) 358-4501 Fax: (042) 358-4519
長野支店 Tel: (0268) 78-3300 Fax: (0268) 78-3301
名古屋支店 Tel: (052) 587-1137 Fax: (052) 587-1350
三河安城営業所 Tel: (0566) 74-2911 Fax: (0566) 74-6411
九州営業所 Tel: (096) 340-2282 Fax: (096) 340-2286
ロボット事業部 Tel: (042) 358-4503 Fax: (042) 358-4518

2014くまもと産業ビジネスフェア出展
会期: 2014年2月13日(木)~14日(金)
会場: グランメッセ熊本
時間: 10:00~17:00

神戸芸術工科大学の久富敏明准教授ら4人と学生のグループは、2011年の東日本大震災での支援活動を機に災害時の避難所での生活空間の改善に取り組んでいる。震災1カ月後の4月、岩手県田舎村に入った際、被災者にはプライバシーの保護と収納スペースの確保が重要。建築デザインとしてその役に立ちたい。(久富敏明准教授)と思ったのが取り組みをはじめた動機だ。すぐに萬田隆大(阪産大特任教授(構造設計))、神戸芸術工大学の安森弘昌(教授(木工))と田頭章徳(助教(家具デザイン))

避難所の生活空間改善 術工大 久富准教授らがツール

神戸芸術工科大学の久富敏明准教授ら4人と学生のグループは、2011年の東日本大震災での支援活動を機に災害時の避難所での生活空間の改善に取り組んでいる。震災1カ月後の4月、岩手県田舎村に入った際、被災者にはプライバシーの保護と収納スペースの確保が重要。建築デザインとしてその役に立ちたい。(久富敏明准教授)と思ったのが取り組みをはじめた動機だ。すぐに萬田隆大(阪産大特任教授(構造設計))、神戸芸術工大学の安森弘昌(教授(木工))と田頭章徳(助教(家具デザイン))

兵庫県立大学産学連携機構(太田勲機構長)は、2013年12月から付属研究施設である高度産業科学技術研究所(兵庫県上郡町、宮本修治所長)の中型放射光施設「ニュースバル」のビームライン(BL)の利用料を最大で約54%引き下げた。従来の材料分析のほか、非破壊検査や高精度立体微細加工などで産



兵庫県立大学の中型放射光施設「ニュースバル」の産業用ビームラインは、2013年12月から付属研究施設である高度産業科学技術研究所(兵庫県上郡町、宮本修治所長)の中型放射光施設「ニュースバル」のビームライン(BL)の利用料を最大で約54%引き下げた。従来の材料分析のほか、非破壊検査や高精度立体微細加工などで産



神戸芸術工科大が製作した「FASTBOX」の完成例

神戸芸術工科大が製作した「FASTBOX」の完成例。大きな縦420センチ、横480センチ、奥行き290センチ、重さ3.6トン。12年1月には学内公募に選ばれ、新たに学生2人が共同設計に加わって4月から動きを本格化した。①プライバシーが守られ収納スペースがある②材料が入手しやすい③道具や金具を極力使わない④組み立てと解体が簡単で短時間、を条件に8点の試作を繰り返し、計画から約1年後の12月12日に「FASTBOX」を完成した。

12年1月には学内公募に選ばれ、新たに学生2人が共同設計に加わって4月から動きを本格化した。①プライバシーが守られ収納スペースがある②材料が入手しやすい③道具や金具を極力使わない④組み立てと解体が簡単で短時間、を条件に8点の試作を繰り返し、計画から約1年後の12月12日に「FASTBOX」を完成した。

13年9月に京都府東区での展覧会に出展し、10月の神戸での展覧会では7人の学生が協力して箱による空間の展示や親子50組による箱やパティシエの製作教室も開いた。参加した親子らは、小学3、4年生でも道具

13年9月に京都府東区での展覧会に出展し、10月の神戸での展覧会では7人の学生が協力して箱による空間の展示や親子50組による箱やパティシエの製作教室も開いた。参加した親子らは、小学3、4年生でも道具

「ニュースバル」のBL 利用料を引き下げ 兵庫県立大産学連携機構

兵庫県立大産学連携機構

企業利用をさらに促進し、企業の製品・技術の開発のスピードアップの支援を担うとして、共同研究や委託研究と合わせ、14年度は前年度比約6割アップの600時間、15年度は700時間、16年度は800時間、17年度は900時間、18年度は1000時間、19年度は1100時間、20年度は1200時間、21年度は1300時間、22年度は1400時間、23年度は1500時間、24年度は1600時間、25年度は1700時間、26年度は1800時間、27年度は1900時間、28年度は2000時間、29年度は2100時間、30年度は2200時間、31年度は2300時間、32年度は2400時間、33年度は2500時間、34年度は2600時間、35年度は2700時間、36年度は2800時間、37年度は2900時間、38年度は3000時間、39年度は3100時間、40年度は3200時間、41年度は3300時間、42年度は3400時間、43年度は3500時間、44年度は3600時間、45年度は3700時間、46年度は3800時間、47年度は3900時間、48年度は4000時間、49年度は4100時間、50年度は4200時間、51年度は4300時間、52年度は4400時間、53年度は4500時間、54年度は4600時間、55年度は4700時間、56年度は4800時間、57年度は4900時間、58年度は5000時間、59年度は5100時間、60年度は5200時間、61年度は5300時間、62年度は5400時間、63年度は5500時間、64年度は5600時間、65年度は5700時間、66年度は5800時間、67年度は5900時間、68年度は6000時間、69年度は6100時間、70年度は6200時間、71年度は6300時間、72年度は6400時間、73年度は6500時間、74年度は6600時間、75年度は6700時間、76年度は6800時間、77年度は6900時間、78年度は7000時間、79年度は7100時間、80年度は7200時間、81年度は7300時間、82年度は7400時間、83年度は7500時間、84年度は7600時間、85年度は7700時間、86年度は7800時間、87年度は7900時間、88年度は8000時間、89年度は8100時間、90年度は8200時間、91年度は8300時間、92年度は8400時間、93年度は8500時間、94年度は8600時間、95年度は8700時間、96年度は8800時間、97年度は8900時間、98年度は9000時間、99年度は9100時間、100年度は9200時間、101年度は9300時間、102年度は9400時間、103年度は9500時間、104年度は9600時間、105年度は9700時間、106年度は9800時間、107年度は9900時間、108年度は10000時間、109年度は10100時間、110年度は10200時間、111年度は10300時間、112年度は10400時間、113年度は10500時間、114年度は10600時間、115年度は10700時間、116年度は10800時間、117年度は10900時間、118年度は11000時間、119年度は11100時間、120年度は11200時間、121年度は11300時間、122年度は11400時間、123年度は11500時間、124年度は11600時間、125年度は11700時間、126年度は11800時間、127年度は11900時間、128年度は12000時間、129年度は12100時間、130年度は12200時間、131年度は12300時間、132年度は12400時間、133年度は12500時間、134年度は12600時間、135年度は12700時間、136年度は12800時間、137年度は12900時間、138年度は13000時間、139年度は13100時間、140年度は13200時間、141年度は13300時間、142年度は13400時間、143年度は13500時間、144年度は13600時間、145年度は13700時間、146年度は13800時間、147年度は13900時間、148年度は14000時間、149年度は14100時間、150年度は14200時間、151年度は14300時間、152年度は14400時間、153年度は14500時間、154年度は14600時間、155年度は14700時間、156年度は14800時間、157年度は14900時間、158年度は15000時間、159年度は15100時間、160年度は15200時間、161年度は15300時間、162年度は15400時間、163年度は15500時間、164年度は15600時間、165年度は15700時間、166年度は15800時間、167年度は15900時間、168年度は16000時間、169年度は16100時間、170年度は16200時間、171年度は16300時間、172年度は16400時間、173年度は16500時間、174年度は16600時間、175年度は16700時間、176年度は16800時間、177年度は16900時間、178年度は17000時間、179年度は17100時間、180年度は17200時間、181年度は17300時間、182年度は17400時間、183年度は17500時間、184年度は17600時間、185年度は17700時間、186年度は17800時間、187年度は17900時間、188年度は18000時間、189年度は18100時間、190年度は18200時間、191年度は18300時間、192年度は18400時間、193年度は18500時間、194年度は18600時間、195年度は18700時間、196年度は18800時間、197年度は18900時間、198年度は19000時間、199年度は19100時間、200年度は19200時間、201年度は19300時間、202年度は19400時間、203年度は19500時間、204年度は19600時間、205年度は19700時間、206年度は19800時間、207年度は19900時間、208年度は20000時間、209年度は20100時間、210年度は20200時間、211年度は20300時間、212年度は20400時間、213年度は20500時間、214年度は20600時間、215年度は20700時間、216年度は20800時間、217年度は20900時間、218年度は21000時間、219年度は21100時間、220年度は21200時間、221年度は21300時間、222年度は21400時間、223年度は21500時間、224年度は21600時間、225年度は21700時間、226年度は21800時間、227年度は21900時間、228年度は22000時間、229年度は22100時間、230年度は22200時間、231年度は22300時間、232年度は22400時間、233年度は22500時間、234年度は22600時間、235年度は22700時間、236年度は22800時間、237年度は22900時間、238年度は23000時間、239年度は23100時間、240年度は23200時間、241年度は23300時間、242年度は23400時間、243年度は23500時間、244年度は23600時間、245年度は23700時間、246年度は23800時間、247年度は23900時間、248年度は24000時間、249年度は24100時間、250年度は24200時間、251年度は24300時間、252年度は24400時間、253年度は24500時間、254年度は24600時間、255年度は24700時間、256年度は24800時間、257年度は24900時間、258年度は25000時間、259年度は25100時間、260年度は25200時間、261年度は25300時間、262年度は25400時間、263年度は25500時間、264年度は25600時間、265年度は25700時間、266年度は25800時間、267年度は25900時間、268年度は26000時間、269年度は26100時間、270年度は26200時間、271年度は26300時間、272年度は26400時間、273年度は26500時間、274年度は26600時間、275年度は26700時間、276年度は26800時間、277年度は26900時間、278年度は27000時間、279年度は27100時間、280年度は27200時間、281年度は27300時間、282年度は27400時間、283年度は27500時間、284年度は27600時間、285年度は27700時間、286年度は27800時間、287年度は27900時間、288年度は28000時間、289年度は28100時間、290年度は28200時間、291年度は28300時間、292年度は28400時間、293年度は28500時間、294年度は28600時間、295年度は28700時間、296年度は28800時間、297年度は28900時間、298年度は29000時間、299年度は29100時間、300年度は29200時間、301年度は29300時間、302年度は29400時間、303年度は29500時間、304年度は29600時間、305年度は29700時間、306年度は29800時間、307年度は29900時間、308年度は30000時間、309年度は30100時間、310年度は30200時間、311年度は30300時間、312年度は30400時間、313年度は30500時間、314年度は30600時間、315年度は30700時間、316年度は30800時間、317年度は30900時間、318年度は31000時間、319年度は31100時間、320年度は31200時間、321年度は31300時間、322年度は31400時間、323年度は31500時間、324年度は31600時間、325年度は31700時間、326年度は31800時間、327年度は31900時間、328年度は32000時間、329年度は32100時間、330年度は32200時間、331年度は32300時間、332年度は32400時間、333年度は32500時間、334年度は32600時間、335年度は32700時間、336年度は32800時間、337年度は32900時間、338年度は33000時間、339年度は33100時間、340年度は33200時間、341年度は33300時間、342年度は33400時間、343年度は33500時間、344年度は33600時間、345年度は33700時間、346年度は33800時間、347年度は33900時間、348年度は34000時間、349年度は34100時間、350年度は34200時間、351年度は34300時間、352年度は34400時間、353年度は34500時間、354年度は34600時間、355年度は34700時間、356年度は34800時間、357年度は34900時間、358年度は35000時間、359年度は35100時間、360年度は35200時間、361年度は35300時間、362年度は35400時間、363年度は35500時間、364年度は35600時間、365年度は35700時間、366年度は35800時間、367年度は35900時間、368年度は36000時間、369年度は36100時間、370年度は36200時間、371年度は36300時間、372年度は36400時間、373年度は36500時間、374年度は36600時間、375年度は36700時間、376年度は36800時間、377年度は36900時間、378年度は37000時間、379年度は37100時間、380年度は37200時間、381年度は37300時間、382年度は37400時間、383年度は37500時間、384年度は37600時間、385年度は37700時間、386年度は37800時間、387年度は37900時間、388年度は38000時間、389年度は38100時間、390年度は38200時間、391年度は38300時間、392年度は38400時間、393年度は38500時間、394年度は38600時間、395年度は38700時間、396年度は38800時間、397年度は38900時間、398年度は39000時間、399年度は39100時間、400年度は39200時間、401年度は39300時間、402年度は39400時間、403年度は39500時間、404年度は39600時間、405年度は39700時間、406年度は39800時間、407年度は39900時間、408年度は40000時間、409年度は40100時間、410年度は40200時間、411年度は40300時間、412年度は40400時間、413年度は40500時間、414年度は40600時間、415年度は40700時間、416年度は40800時間、417年度は40900時間、418年度は41000時間、419年度は41100時間、420年度は41200時間、421年度は41300時間、422年度は41400時間、423年度は41500時間、424年度は41600時間、425年度は41700時間、426年度は41800時間、427年度は41900時間、428年度は42000時間、429年度は42100時間、430年度は42200時間、431年度は42300時間、432年度は42400時間、433年度は42500時間、434年度は42600時間、435年度は42700時間、436年度は42800時間、437年度は42900時間、438年度は43000時間、439年度は43100時間、440年度は43200時間、441年度は43300時間、442年度は43400時間、443年度は43500時間、444年度は43600時間、445年度は43700時間、446年度は43800時間、447年度は43900時間、448年度は44000時間、449年度は44100時間、450年度は44200時間、451年度は44300時間、452年度は44400時間、453年度は44500時間、454年度は44600時間、455年度は44700時間、456年度は44800時間、457年度は44900時間、458年度は45000時間、459年度は45100時間、460年度は45200時間、461年度は45300時間、462年度は45400時間、463年度は45500時間、464年度は45600時間、465年度は45700時間、466年度は45800時間、467年度は45900時間、468年度は46000時間、469年度は46100時間、470年度は46200時間、471年度は46300時間、472年度は46400時間、473年度は46500時間、474年度は46600時間、475年度は46700時間、476年度は46800時間、477年度は46900時間、478年度は47000時間、479年度は47100時間、480年度は47200時間、481年度は47300時間、482年度は47400時間、483年度は47500時間、484年度は47600時間、485年度は47700時間、486年度は47800時間、487年度は47900時間、488年度は48000時間、489年度は48100時間、490年度は48200時間、491年度は48300時間、492年度は48400時間、493年度は48500時間、494年度は48600時間、495年度は48700時間、496年度は48800時間、497年度は48900時間、498年度は49000時間、499年度は49100時間、500年度は49200時間、501年度は49300時間、502年度は49400時間、503年度は49500時間、504年度は49600時間、505年度は49700時間、506年度は49800時間、507年度は49900時間、508年度は50000時間、509年度は50100時間、510年度は50200時間、511年度は50300時間、512年度は50400時間、513年度は50500時間、514年度は50600時間、515年度は50700時間、516年度は50800時間、517年度は50900時間、518年度は51000時間、519年度は51100時間、520年度は51200時間、521年度は51300時間、522年度は51400時間、523年度は51500時間、524年度は51600時間、525年度は51700時間、526年度は51800時間、527年度は51900時間、528年度は52000時間、529年度は52100時間、530年度は52200時間、531年度は52300時間、532年度は52400時間、533年度は52500時間、534年度は52600時間、535年度は52700時間、536年度は52800時間、537年度は52900時間、538年度は53000時間、539年度は53100時間、540年度は53200時間、541年度は53300時間、542年度は53400時間、543年度は53500時間、544年度は53600時間、545年度は53700時間、546年度は53800時間、547年度は53900時間、548年度は54000時間、549年度は54100時間、550年度は54200時間、551年度は54300時間、552年度は54400時間、553年度は54500時間、554年度は54600時間、555年度は54700時間、556年度は54800時間、557年度は54900時間、558年度は55000時間、559年度は55100時間、560年度は55200時間、561年度は55300時間、562年度は55400時間、563年度は55500時間、564年度は55600時間、565年度は55700時間、566年度は55800時間、567年度は55900時間、568年度は56000時間、569年度は56100時間、570年度は56200時間、571年度は56300時間、572年度は56400時間、573年度は56500時間、574年度は56600時間、575年度は56700時間、576年度は56800時間、577年度は56900時間、578年度は57000時間、579年度は57100時間、580年度は57200時間、581年度は57300時間、582年度は57400時間、583年度は57500時間、584年度は57600時間、585年度は57700時間、586年度は57800時間、587年度は57900時間、588年度は58000時間、589年度は58100時間、590年度は58200時間、591年度は58300時間、592年度は58400時間、593年度は58500時間、594年度は58600時間、595年度は58700時間、596年度は58800時間、597年度は58900時間、598年度は59000時間、599年度は59100時間、600年度は59200時間、601年度は59300時間、602年度は59400時間、603年度は59500時間、604年度は59600時間、605年度は59700時間、606年度は59800時間、607年度は59900時間、608年度は60000時間、609年度は60100時間、610年度は60200時間、611年度は60300時間、612年度は60400時間、613年度は60500時間、614年度は60600時間、615年度は60700時間、616年度は60800時間、617年度は60900時間、618年度は61000時間、619年度は61100時間、620年度は61200時間、621年度は61300時間、622年度は61400時間、623年度は61500時間、624年度は61600時間、625年度は61700時間、626年度は61800時間、627年度は61900時間、628年度は62000時間、629年度は62100時間、630年度は62200時間、631年度は62300時間、632年度は62400時間、633年度は62500時間、634年度は62600時間、635年度は62700時間、636年度は62800時間、637年度は62900時間、638年度は63000時間、639年度は63100時間、640年度は63200時間、641年度は63300時間、642年度は63400時間、643年度は63500時間、644年度は63600時間、645年度は63700時間、646年度は63800時間、647年度は63900時間、648年度は64000時間、649年度は64100時間、650年度は64200時間、651年度は64300時間、652年度は64400時間、653年度は64500時間、654年度は64600時間、655年度は64700時間、656年度は64800時間、657年度は64900時間、658年度は65000時間、659年度は65100時間、660年度は65200時間、661年度は65300時間、662年度は65400時間、663年度は65500時間、664年度は65600時間、665年度は65700時間、666年度は65800時間、667年度は65900時間、668年度は66000時間、669年度は66100時間、670年度は66200時間、671年度は66300時間、672年度は66400時間、673年度は66500時間、674年度は66600時間、675年度は66700時間、676年度は66800時間、677年度は66900時間、678年度は67000時間、679年度は67100時間、680年度は67200時間、681年度は67300時間、682年度は67400時間、683年度は67500時間、684年度は67600時間、685年度は67700時間、686年度は67800時間、687年度は67900時間、688年度は68000時間、689年度は68100時間、690年度は68200時間、691年度は68300時間、692年度は68400時間、693年度は68500時間、694年度は68600時間、695年度は68700時間、696年度は68800時間、697年度は68900時間、698年度は69000時間、699年度は69100時間、700年度は69200時間、701年度は69300時間、702年度は69400時間、703年度は69500時間、704年度は69600時間、705年度は69700時間、706年度は69800時間、707年度は69900時間、708年度は70000時間、709年度は70100時間、710年度は70200時間、711年度は70300時間、712年度は70400時間、713年度は70500時間、714年度は70600時間、715年度は70700時間、716年度は70800時間、717年度は70900時間、718年度は71000時間、719年度は71100時間、720年度は71200時間、721年度は71300時間、722年度は71400時間、723年度は71500時間、724年度は71600時間、725年度は71700時間、726年度は71800時間、727年度は71900時間、728年度は72000時間、729年度は72100時間、730年度は72200時間、731年度は72300時間、732年度は72400時間、733年度は72500時間、734年度は72600時間、735年度は72700時間、736年度は72800時間、737年度は72900時間、738年度は73000時間、739年度は73100時間、740年度は73200時間、741年度は73300時間、742年度は73400時間、743年度は73500時間、744年度は73600時間、745年度は73700時間、746年度は73800時間、747年度は73900時間、748年度は74000時間、749年度は74100時間、750年度は74200時間、751年度は74300時間、752年度は74400時間、753年度は74500時間、754年度は74600時間、755年度は74700時間、756年度は74800時間、757年度は74900時間、758年度は75000時間、759年度は75100時間、760年度は75200時間、761年度は75300時間、762年度は75400時間、763年度は75500時間、764年度は75600時間、765年度は75700時間、766年度は75800時間、767年度は75900時間、768年度は76000時間、769年度は76100時間、770年度は76200時間、771年度は76300時間、772年度は76400時間、773年度は76500時間、774年度は76600時間、775年度は76700時間、776年度は76800時間、777年度は76900時間、778年度は77000時間、779年度は77100時間、780年度は77200時間、781年度は77300時間、782年度は77400時間、783年度は77500時間、